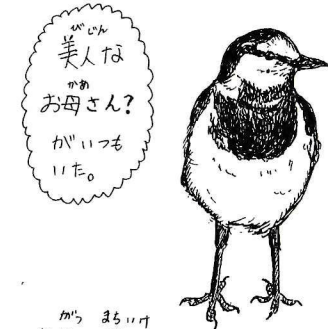


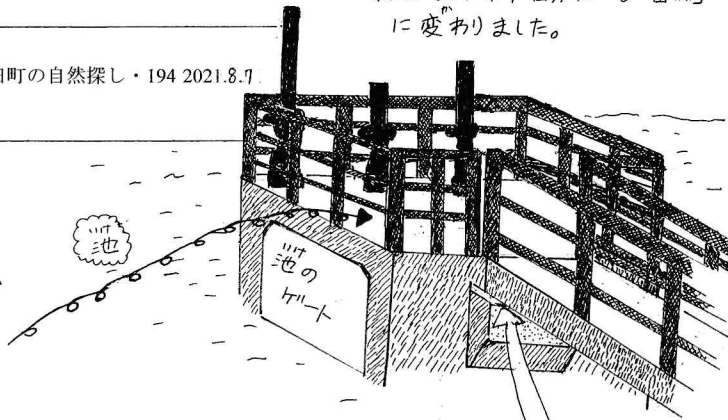
夏でも見られる様になった、ハクセキレイ

私が野鳥に興味を持ち始めた高校生の頃は、冬に渡ってやって来る「冬鳥」だったハクセキレイ。最近では、1年中日本に「留鳥」に変わりました。

おおばこ 植田町の自然探し・194 2021.8.7

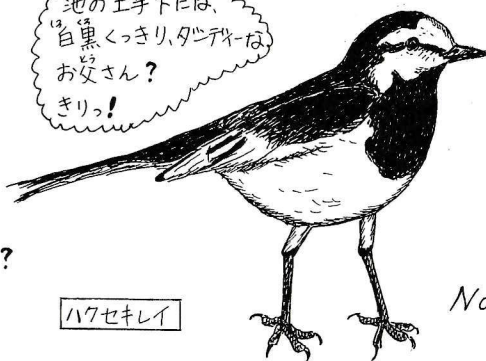


美人なお母さん? がいつもいた。



池

池のゲート

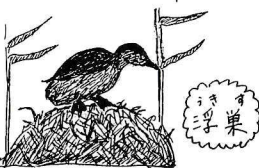


池の土手下には、白黒くさり、タンデーなお父さん? きりっ!

どうやらこの辺りに巣があったのでは?

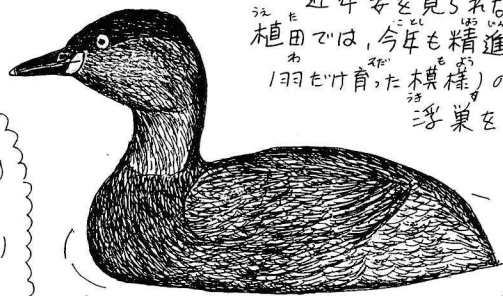
ハクセキレイ

Noriko M.



鳥の巣

「ちやぶくろ」と呼ばれたりもした。このカイツブリさえも、冬になるといじわるな。



カイツブリ

2021年のカイツブリ子育て情報

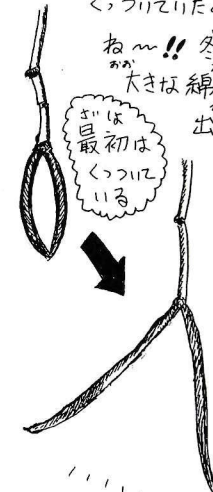
近年姿を見られなくなっているらしい、カイツブリ。植田では、今年も精進池で5羽、待池で3羽(後に1羽だけ育った模様)の雛が生まれました!!! 池に浮かぶ浮巢を隠せる木陰やヨシがまたある事で、安心して子育てが出来ます。木陰やヨシの中に巣を作る事で、巣の上に甲羅干しのため、ミシシッピアカミミガメ(外来種)が上から邪魔してほう事からも防衛事が出来るのです。精進池では餌がアメリカザリガニ(これも外来種)ばかりなのは気になる所...

ティカカズラはこうやって鞘に変身!!

5~6月に白い花が沢山咲き、その中から限られた数の鞘が出来るティカカズラ。7月にはもうかなり大きな鞘は、どうやって出来るのか、謎でした。ある日、花が終った後の出来始めた鞘を発見! 何と! 最初から2本あり、その先はくっついていたのでね!! 冬には大きな綿毛が出てきた。



この鞘の名残



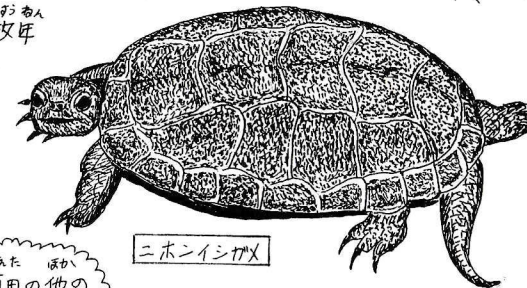
鞘は最初はくっついてる

一組の鞘に、40個の綿毛があることも!



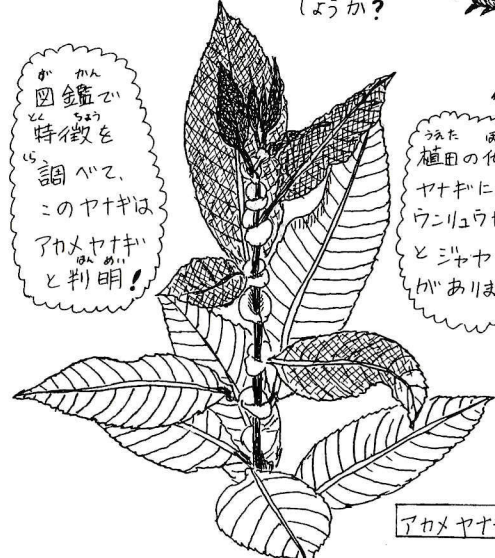
ティカカズラ

大人はまた健在だけど、植田の各池、今ではすっかり外来種のミシシッピアカミミガメが。でもニホンイシガメの大人はまた見る事が出来ています...しかし、子ガメはもう10数年以上見ていません。彼らの住みかを奪ったミシシッピアカミミガメの駆除は可能でしょうか?



ニホンイシガメ

眼鏡で特徴を調べて、このヤナギはアカメヤナギと判明!



アカメヤナギ

植田の他のヤナギには、ウニユウヤナギとシヤヤナギがあります。

発行: 牧野 紀子 (もり〜ゆ)
豊橋市植田町字南柄沢43-2
<http://morigaiisutekizsen.hatenablog.com/>
未来の子ども達にいのち、自然を残し伝えたい。それか聞かぬとある気がします。

名前が分かると... 「あなにもアカメヤナギね!」と気付かされた所での存在も分かり、親しみが増えるのです。